

2199  
1222  
①

博士学位請求論文

カリキュラム開発における教師の役割とその遂行過程に関する研究  
—SBCD(School Based Curriculum Development)の視点から—

1999年 2月

筑波大学大学院博士課程  
教育学研究科学校教育学専攻

鄭 栄 根

寄贈  
鄭栄根氏

00003518

## 目 次

序 章 -----	4
第1節 問題の所在 -----	4
第2節 先行研究の検討 -----	9
第3節 研究の目的と方法 -----	12
注) -----	16
第1章 カリキュラム開発の概念に関する予備的検討 -----	21
第1節 カリキュラム開発の研究系譜 -----	21
1. 1930年代のカリキュラム作成・改訂運動からの「開発」概念の形成 -----	21
2. タイラーの原理による「開発」の内的過程の形成 -----	23
3. カリキュラム開発の研究に関するパラダイムの転換 -----	28
第2節 カリキュラム開発論における争点 -----	32
1. カリキュラム開発論の分類 -----	32
2. カリキュラム開発の概念の検討 -----	39
注) -----	45
第2章 SBCDの成立過程における教師の役割をめぐる論議 -----	50
第1節 SBCDの成立の時期 -----	50
第2節 60年代の教育政策にみる教師の役割論 -----	53
1. 教育投資論 -----	53
2. 教育計画論 -----	55
第3節 カリキュラム「使用者」としての教師の役割論 -----	59
1. RDDモデルと「中央-周辺」論 -----	59
2. 「教師耐性カリキュラム」の使用者としての教師 -----	66
第4節 教育政策の転換によるSBCDの登場 -----	72
1. 教育政策の変化 -----	72
2. カリキュラム開発に関するOECDの基本方針の変化 -----	76

注)	-----	82
第3章	SBCDによる教師の役割の転換	----- 87
第1節	SBCDに関する概念的解釈の多様性	----- 87
1.	SBCDの基本的発想	----- 87
2.	パートナーシップの概念によるSBCDの捉え方	----- 91
第2節	SBCDによる実行類型の多様性	----- 97
1.	SBCDの実行における理論的類型	----- 97
2.	SBCDの実践類型	----- 104
第3節	SBCDの実際の展開にみられる3つの方向	----- 109
1.	教育改革の一環としてのSBCD	----- 109
2.	「資源」運動としてのSBCD	----- 110
3.	教師の専門性開発としてのSBCD	----- 112
第4節	SBCDによる教師の役割転換	----- 114
1.	SBCDによる教師の位置付け	----- 114
2.	SBCDによる教師の役割のための支援システム	----- 120
注)	-----	125
第4章	カリキュラム開発における教師の役割遂行過程	----- 130
第1節	カリキュラムの相互作用的開発の検討	----- 130
1.	相互作用を核とするSBCDの開発モデル	----- 130
2.	ハウズの「過程モデル」	----- 135
3.	コーエンらの「人々を中心とする相互作用モデル」	----- 139
4.	スキルベックの「相互作用モデル」	----- 140
第2節	SBCDによる意思決定の検討	----- 147
1.	学校に基礎をおくカリキュラムの意思決定	----- 147
2.	ハリソンのSBCDによる意思決定モデルの検討	----- 153
第3節	教師の役割遂行過程に関する理論的枠組	----- 156
注)	-----	167

第5章 教師の役割遂行過程に関する実証的分析 -----	171
第1節 調査研究の対象と方法 -----	171
第2節 分析と考察 -----	175
1. 選択教科制の運用における教師の役割類型の特徴 -----	175
2. 選択教科制の意思決定過程にみる教師の役割遂行 -----	183
3. 選択教科制の運用にみられる状況分析による教師の役割遂行 -----	196
第3節 日本におけるSBCDの可能性と問題点、韓国への示唆 -----	209
注) -----	213
終    章 -----	215
第1節 研究結果の要約 -----	215
第2節 ナショナル・カリキュラムの強化の問題点 -----	221
第3節 SBCDの実践のための教師の準備性と専門性 -----	224
注) -----	227
参考文献 -----	229